

阪大で実践的な経済学に触れてみませんか？

みなさんは、「経済学」や「エコノミクス」と聞いて、どんな内容をイメージされますか？ お金や市場、景気、金融といったキーワードが真っ先に思い浮かぶかもしれません。実は最近、こうした伝統的な経済学のイメージをガラッと変えるような新たなブレイクスルーが、ミクロ経済学の中で起こり始めています。それが、僕も研究している「マーケットデザイン」と呼ばれる分野です。

市場（マーケット）を設計（デザイン）する「マーケットデザイン」は、ざっくり言うと、ミクロ経済学やゲーム理論を通じて得られた研究成果を生かして、現実の市場や制度を修正ないし設計していく新しい分野です。金銭の授受を伴う狭い意味での市場だけを対象とするのではなく、様々な「交換の場」について議論することができます。たとえば、公立学校選択制や大学の寮の割り当て、臓器移植の交換の仕組みといった、一見すると経済とは全然関係ないような問題にまで、その応用範囲は広がっています。これらマッチングの仕組み作りへの貢献に対して、2012年にはなんとノーベル経済学賞が授与されました。

マーケットデザイン以外にも、経済学の実践的な研究分野は広がりを見せています。経済実験を通じて標準理論の正しさ、ま

経済学研究科 安田 洋祐 准教授

たは標準理論からの乖離（アノマリー）を明らかにする「実験経済学」、そのアノマリーを心理学の知見を生かして説明しようとする「行動経済学」、さらには神経科学の知見からの説明を試みる「神経経済学」、大がかりなフィールド実験を用いて因果推論を行う「ランダム化比較試験」、などが代表例です。

ラッキーなことに、大阪大学はいずれの分野においても一流の教員が揃っていますし、日々研究生活に没頭している（ハズ!）大学院生の先輩たちも数多く在籍しています。サークル活動やバイトに精を出すことも大切ですが、阪大の恵まれた研究リソースを生かして、エキサイティングで実践的な経済学を勉強してみたいかがでしょうか？ そんな青春もアリかもしれませんよ！

プロフィール

2002年東京大学経済学部卒、Ph.D（経済学）（米プリンストン大学）。
政策研究大学院大学助教授を経て、2014年より現職。

